

令和7年度 八王子市立由井第二小学校 学校経営計画

【学校教育目標】 「くふうする子 はげまし合う子 じょうぶになる子」

【目指す学校像】

- (1)「考え工夫する子」が育つ学校
- (2)「自分を大切にする子」が育つ学校
- (3)「人を大切にする子」が育つ学校
- (4)健康・安全にすごせる学校
- (5)地域とともにある学校
- (6)働きやすい学校

中期的目標	中期的方策
(1) 考え工夫することができる児童の育成	不断の授業改善
(2) 児童の自尊感情、自己肯定感の向上	誰一人取り残さない指導の実施
(3) 児童相互が認め合う授業の実現	互いが認め合える場の創生
(4) 教員、児童の危機管理能力の向上	自らの安全・健康を守る指導
(5) 地域との持続可能な連携の実現	地域とのウインウインな関係づくり
(6) 地域における幼保小中の一貫した教育の確立	由井中との情報共有及び連携事業への積極的参加 幼保小連携事業の活性化
(7) 全教職員の心理的安全性を高める	なんでも話し合える職場の雰囲気づくり



【令和7年度の目標と取組】

<p>1 「考えくふうする子」を育てる</p> <p>(1) 教育活動全体で必ず工夫する場面を入れる。</p> <p>(2) 授業の振り返りの場面での評価の観点として「工夫できたか」を入れる。</p> <p>(3) 授業では、一人で考える場面を設定する。</p> <p>(4) 授業では、複数で考えを出し合ったり、話し合う場面を設定する。</p> <p>(5) 自分の考えを理由を添えて説明させる。</p> <p>(6) 児童が主体的に工夫するような題材、教材、資料、問題を工夫する。</p>	<p>指針</p> <p>○授業観察等における自己評価</p> <p>○学力調査における思考力、判断力、表現力の結果</p>
<p>2 児童一人一人を大切に</p> <p>(1) 全教育活動において、「まとめ」の時間を取り、「活動のまとめ」と「内容のまとめ」を必ずすることで、毎時間児童に充実感、達成感をもたせる。</p> <p>(2) 教員は児童理解を深め、一人一人に寄り添った指導を行う。(特別支援教育は常に行う。)</p> <p>(3) 児童一人一人の学力の向上に努める。(誰一人取り残さない指導)</p> <p>(4) いじめ対策委員会、いじめアンケート等により、未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応に努める。</p> <p>(5) 「八王子市立学校における不登校児童・生徒の出席の取り扱いに関するガイドライン」に則り、児童の社会的自立を念頭に置いた対応を進める。</p>	<p>指針</p> <p>○児童による意識調査 肯定的意見90%以上</p> <p>○学校関係者評価 いじめ防止85%以上</p>
<p>3 相互に認め合える児童の育成</p> <p>(1) 授業等では個人での問題解決の後に必ず互いの考えを交流する場面をつくる。</p> <p>(2) 行事や授業において、協力して何かを成し遂げるような協働的な学習を行う。</p> <p>(3) 道徳教育の充実(重点内容項目として、「B 主として人との関わりに関すること」、「C 主として集団や社会との関わりに関すること」)</p> <p>(4) 互いを励まし合ったり、互いを認め合う声かけなどの発信を促進する。</p>	<p>指針</p> <p>○授業観察における評価</p> <p>○児童の授業のアンケート 肯定的評価80%以上</p> <p>○道徳授業地区公開講座</p>

4 安全そして健康な学校生活 ① 体育科授業のOJTを実施し、体育科授業の充実を図り、体力の向上、健康増進を図る。 ② 「自らの命は自ら守る」防災教育の充実 ③ 様々な事態を想定した避難訓練の計画・実施 ④ 一言指導による交通安全、生活安全を全校で実施	指針
	○学校関係者評価 生活指導 肯定的評価80%以上 ○避難訓練における評価

5 地域との連携を一層強化する ① 地域、保護者への丁寧な情報発信 ② 学校運営協議会を通じ、地域からの人材活用、学校の地域への開放を活発化させる ③ 学校の開放と地域とのより強い結びつきを図る ④ 由井中学校及び近隣小学校との連携、情報共有を深め、交流活動において積極的な参加を促す ⑤ 近隣保育園との連携を深め、スタートカリキュラムの一層の充実を図る	指針
	○学校関係者評価 地域運営学校 肯定的評価80%以上 ○由井中学校における催しの参加状況

6 教職員の心理的安全性を守る ① 機嫌のよい職員室をつくる ② 職員同士があいさつをすすんでする ③ 休暇を取りやすい職場づくり ④ チームで問題に対応し、チームで乗り越える ⑤ なんでも相談できる雰囲気づくり ⑥ 都アウトリーチ相談の実施	指針
	○校内年度末評価 ○ストレスチェック

【令和7年度の重点目標と取組】

1 学校目標を具現化する不断の授業改善 (1)校内研究における国語科文章読解指導の向上及び研究のやり方、考え方を学ぶ (2)校内 OJT の計画を立て、本校教員の実態に合った研修会を実施する (3)校外における研究への参加促進 (4)相互の授業観察の促進 (5)管理職による授業観察の頻度を上げる	指針 ○児童による意識調査(学習・人権) ○学力調査における思考力、判断力、表現力の結果 ○研究授業における見取り
2 児童の読書活動の促進 (1)読み聞かせ活動をより拡大、発展させる (2)学級文庫の充実(中央図書館による貸出や購入も) (3)「すきま読書」のすすめ(本バックの確認) (4)年間読書量の目標を決め、達成者を表彰 (5)「読書週間」を「本気の読書週間」へ	指針 ○年間読書量 達成者数が全児童の半数
3 一人一人が深める探究活動 (1) 総合的な学習の時間の充実(指導教諭による OJT 及び相談) (2) 総合的な学習の時間において教科の発展、関連を扱い、探究を深める (3) 夏季休業中の探究について、担任及び保護者の確認をする	指針 ○児童のポートフォリオ等の記述 ○総合的な学習の時間の評価

<p>4 学年を超えた仲間づくり</p> <p>(1)由井二っ子班活動による学年を超えた交流活動の充実及び高学年児童のリーダーシップの育成</p> <p>(2)放課後子供教室による異学年による遊び</p> <p>(3)低・中・高学年ごとの活動を基本とする活動(プール、運動会など)</p>	<p style="text-align: center;">指針</p> <p>○休み時間の観察</p> <p>○放課後教室の観察</p>
---	--

<p>5 地域と密な連携（ウィンウィンな関係）</p> <p>(1)学校運営協議会委員、安全ボランティアとの教職員及び児童との顔合わせ</p> <p>(2)学校運営委員会副委員長との綿密な打ち合わせ</p> <p>(3)学校運営協議会の回数増加</p> <p>(4)片倉町会との連携強化</p> <p>(5)地域子ども会との連携の模索</p>	<p style="text-align: center;">指針</p> <p>○学校評価(地域・保護者)</p> <p>肯定的評価80%以上</p>
--	--